

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

平成 28 年度 ガーデンライフ神戸西

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 28年 11月 7日 (15:00 ~ 18:00)
	平成 28年 11月 8日 (16:00 ~ 18:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー	6名
------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	4	1	2	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		5	3		8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	5	2		8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		2	2	4	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①リーダーや看護師など常勤者の情報共有はできている。②チームケアとして事前に話し合い、必要なサービスについて検討している。③ご本人に積極的に関わりの機会を持つよう心掛けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②意向をうかがっていても、スタッフ全体の情報共有ができていない。また、「～したい」の希望を十分に聞けていないと感ずることがある。スタッフがケアプランや情報を自身の主観で解釈していることがある。③スタッフ全員で配慮することができていない。④情報を知るだけにとどまっていることがある。ケアプランの把握までできていない。不安を受け止める関係作りが十分にできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スタッフ全体への情報共有ができるよう取り組む。現状、毎朝の申し送りやアセスメントシートの活用もしているが、各スタッフが理解を高めるよう取り組む。④不安を打ち明けられる関係作りをするためには、十分なコミュニケーションが必要。日々の何気ない会話からの気づきを大切にする。各スタッフが手順書の確認を行い、正確にサービスを行う。手順書の訂正を迅速に行い、各スタッフが確認をしたかを確認する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年11月7日(15:00～18:00)
平成 28年11月8日(16:00～18:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	3	2	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	2	2	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	2	3	8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	2	4	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②話しをする機会を持つようにしている。できる限り、本意を聞ける様心掛けている。食事の希望や外出の機会などの希望は聞くことができています。④毎日の申し送りを通じて情報収集や振り返りを行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②特定のスタッフ以外は、ご本人のゴールにはあまり関心がない。申し送り等を通して、情報の提供はしているが、他人事のように聞いているスタッフもいる。④日々、振り返りをしているが、個別に発言を求めないと発言しようとしな。また、日々その思いに寄せて行動することができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご利用者一人ひとりに関心を持ち、本意に添えるような行動を行えるよう心掛ける。ご本人の思いをあらためて伺い、その本意を共有する機会を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 28年 11月 7日 (15:00 ~ 18:00)
	平成 28年 11月 8日 (16:00 ~ 18:00)

3. 日常生活の支援

メンバー	6名
------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	2	5	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	6	1		8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	1	4	2	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	4	2	1	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		5	2	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①10個は把握できていないが、ご本人のこれまでの様子をうかがうようにしている。②適宜残存能力の状態の確認し、過剰な介護にならないようサポートしてる。③特定のスタッフは気付くよう配慮している。④⑤多数のスタッフが関わることにより、体調の変化には早期に気づき対応できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①サービス開始時にサ高住へ転居して来られたご利用者が多いため、ご自宅に居た頃の生活状態が十分に把握できていない場合がある。②サービス内容を決めていても自己判断や主観で介助を行うスタッフもいる。③「声にならない声」を理解できないスタッフもおおり、配慮ができていないことがある。言語化は特に苦手。④⑤予測ができていないスタッフもおおり、報告内容が十分でないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ミーティングで、「声にならない声」について勉強会を行う。各ご利用者について些細な言動に気付くようになる。具体的にスタッフ間で話し合いを行う機会を設け情報を共有する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 11月 7日 (15:00 ~ 18:00)
平成 28年 11月 8日 (16:00 ~ 18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	3	3	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5		1	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	2	1	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	3	4	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①聞き取りはサービス開始時のみでなく、継続的に伺い理解を深めるようにしている。②この地域で生活して来られていた方は、ふれあい喫茶などを通して地域と関わる機会に参加できるようにしている。サ高住に転居してきた方についても、同じくふれあい喫茶・美容院・スーパーに行き、保育園園児の来訪などにより関わりを持てるようにしている。民生委員さんや自治会の方から多大なご協力をいただいている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①ご利用者によって、よく話を伺っている方やそうでない方の偏りがある。③事業所が関わっていない時間帯の生活状況に関心がないスタッフもいる。④「地域の資源」がわからないスタッフが多い。サ高住に転居して来られた方が多数のため、もともとの関わりが少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「地域の資源」社会資源についての勉強会を行い、理解を深める。ご本人の暮らしとは、生活・生きることそのものであると理解し、ご利用者に関心を持って接するようになる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年11月7日(15:00～18:00)
平成 28年11月8日(16:00～18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	2	3	1	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4	1		8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	5	1	1	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7		1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①場合により、あんすこへ相談に行くことがある。②④身体的・精神的変化や家庭環境の変化に応じてサービスの変更を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③④変化に気付くことができても、十分に記録されていないことや申し送りができていないため、情報の伝達が遅れることや、情報の共有ができていないことがある。また、スタッフの主観が入り正確に情報の伝達できていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「地域の資源」社会資源についての勉強会を行い、理解を深める。ご本人の暮らしとは、生活・生きることそのものであると理解し、ご利用者に関心を持って接するようになる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 11月 7日 (15:00 ~ 18:00)
平成 28年 11月 8日 (16:00 ~ 18:00)

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	2		4	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			2	6	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	4	1		8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	4	1		8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①主に担当学会議を開催。医療機関の参加は難しいため、事前に情報確認を行っている。②地域ケア会議には参加している。③ふれあい喫茶・お祭り・クリーン作戦などに参加させていただいている。④地域の保育園から園児の訪問やご家族の訪問はある。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②自治会は協賛会員のため、会議の参加はできない。④当事業所の知名度が低く、あまり知られていないため。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
自治会や周辺の行事など参加できることは積極的に参加し情報収集を行う。地域の方に知ってもらえるよう事業所の表示などを工夫するなど実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 7 日 (15:00 ~ 18:00)
平成 28 年 11 月 8 日 (16:00 ~ 18:00)

7. 運営

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		2	4	2	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	2		8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	4	2	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	4	3	8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①ご利用者にとって必要な事業所になるためには。と検討をしている。②ご利用者・ご家族の意見・苦情を伺い、ミーティングでそのお気持ちを共有し、できることから改善するよう取り組んでいる。③運営推進会議で意見を伺っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①事業所のあり方についてどのように意見を述べればよいかわからない。③地域からの意見・苦情を訊ねる機会が運営推進会議以外にない。④当事業所が地域密着型であるという認識はあるが、地域の拠点となる・・・とは感じていないスタッフが多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
自治会や周辺の行事など参加できることは積極的に参加し情報収集を行う。地域の方に知ってもらえるよう事業所の表示などを工夫するなど実施する。仕方を検討し参加していただき、地域の方に親しんでいただけるよう、当事業所が地域向けに開催しているイベントの広報内容の工夫をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 28 年 11 月 7 日 (15:00 ~ 18:00)
	平成 28 年 11 月 8 日 (16:00 ~ 18:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー	6 名
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	5	1		8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5	2	1	8
③	地域連絡会に参加していますか		1	3	4	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		2	5	1	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②小規模多機能連絡会の研修を中心に、認知症に関する研修に積極的に参加。その参加者が、事業所内で他のスタッフに対して研修を行っている。④事故がおきないように、毎日の申し送りでスタッフの注意を促している。事故が発生した場合は、多数のスタッフで検証を行い、次がおきないように取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③地域連絡会がよくわからない。④ヒヤリハットの記録が少ない。リスクマネジメントに常に意識をすることができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
気をつけながら行動をおこし、気づきを大切にする。気付いた時にはヒヤリハット報告書を記載する。報告書に基づき検証を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 7 日 (15:00 ~ 18:00)
平成 28 年 11 月 8 日 (16:00 ~ 18:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	1			8
②	虐待は行われていない	6	2			8
③	プライバシーが守られている	4	4			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	2	3	8
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	3	1		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①身体拘束は行っていない。②虐待につながるような不適切な行動がないかチェックするようにしている。 ④成年後見制度が必要なご利用者は現在該当ないが、相談があれば提案している。また、必要性がある際はご家族と相談する場合もある。個人ファイル等の情報の保管場所・保管方法を定めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③記録を書く際、ご利用者と同じテーブルで書くことがある。③トイレ誘導などの声掛け時、周囲に聞こえないような声で合図ができていない。④成年後見制度がよくわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
成年後見制度について勉強会を行う。プライバシーに関わるようなことは、日々、もし自分なら・・・こうして欲しい。もし、自分の大切な人なら・・・こんな風にして欲しくない。との思いを常に持って対応するよう心掛ける。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団友幸会	代表者	西川 弘	法人・事業所の特徴	サービス付き高齢者向け住宅が併設しているため、その住宅にお住まいの方が利用されていることが多いです。自立支援を中心としたサービス計画立て、ご自身でできることは、これからもご自身でできるようサポートさせていただいております。
事業所名	ガーデンライフファミリー神戸西	管理者	岡田 美和		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	人	0人	1人	1人	1人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			振り返りを行ういい機会になった。各スタッフの意見がわかり、サービス内容の理解度・個々の精度がわかる指標となった。	各スタッフのサービスの内容・手順書の理解度を定期的に確認する。
B. 事業所のしつらえ・環境			事業所が知られていない原因は、敷地の外に看板がない。道路側に看板を出した方が良い。知名度を上げる必要がある。環境は静か。	看板は、法人内で検討中。
C. 事業所と地域のかかわり			クリーン作戦に参加してもらい助かっている。地域の活動にどんどん参加をして、近隣との交流を増やすとよい。	地域の方に知っていただくため外看板を検討。 地域の交流場所に積極的に参加させていただく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			現在は、併設のサ高住入居者のみ。もともとこの地域の方が少なく、新たにこの地域で生活を始める方が多い。	今、この地域で生活していることに重視し、地域とのつながりを増やし、ご利用者が地域に出向いて行ける環境作りを具体的に行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み			色々な事業所がたくさんあるため、小規模多機能と言われても他の事業・施設との違いがよくわからない。	小規模多機能の機能をわかりやすく説明できるように工夫する。 運営推進会議の出席者がふえるようご家族に案内を行う。
F. 事業所の防災・災害対策			地域の防災訓練は、通常の自治会員ではないため、事業所参加は難しい。地域で協力をするのは大切。	災害対策の再検討と避難場所等をスタッフ全員が周知する。 日常的な訓練の機会を増やす。

